

～ 夏休みまで後・・・ ～

梅雨がどこかに行ってしまったような6月。とてもあわただしく忙しい一ヶ月だったように思います。きっと先生方だけではなく、皆さんもそうだったのではないのでしょうか。生徒総会があり、今年度初めての定期試験があり、進路説明会があり。そして部活動では大切な最後の夏に向けての練習に熱が入っていることでしょう。

6月30日の進路説明会には、梅雨特有の蒸し暑さが戻ってきた中、多くの保護者の方にお集まりいただき、ありがとうございました。そして、生徒諸君もお疲れ様でした。今回は進路に向けての基本的な考え方を理解していただくとともに、これから夏休みにかけて、そして年間の予定を見通していただくための説明会でした。

以下、ポイントをまとめておきますので、資料とともに参照してください。

① 進路を考えることは、人生の方針を考えることです。“高校進学”は、人生における通過点にすぎません。人生の全てのことが、今この時点で見通せるものではありません。ですから、真剣に、しかしあまり思い詰めすぎないで、家族で話しあう機会にしましょう。

② 学校などの選択にあたって、一つの学校だけしか見えなくなることは危険です。人生は多様なのですから。むしろ恐ろしいのは、万が一の時、失敗したという挫折感だけを残して、それが後に響くことです。“こんな学校しか”は禁句。勝負は中に入ってから。自分の力をいかに伸ばし、将来を切り開いていくか。そんな視点から、いろいろな要素を考え（通いやすさ・部活・学校の雰囲気など）いくつかの学校を候補にあげましょう。

③ これからの時期に重要になるのは情報収集。今は、公立校も学区が廃止になり、定員の半分以上が、事前に示される選考基準により選抜されます。（インターネットで公開されます）私立も、定員の半分は、推薦入試、併願推薦で決まり、その基準は事前に公開されています。（公立第一希望でも、併願は必要。）敵を知り、己を知ることが勝利の鉄則。自分の条件にあった学校を調べておこう。この夏に向けて、多くの学校が説明会や体験学習を組んでいます。ぎりぎりになって焦ったり、後悔したりしないために、早め早めに動くことが大切になります。（説明会参加届けは事後でも結構ですから出してください。）

④ 学校と家庭、親と子、教師と生徒の間の協力が不可欠です。しっかり意思疎通できるようにご協力をお願いします。疑問点や心配なことは、遠慮無く直接お聞きください。

なお、進路は学年職員全員であたります。第一回進路希望調査の期限は、7月5日厳守です。進路関係の書類は、特に期日に遅れないよう気をつけてください。

部活に、学習に、悔いを残さない夏にしていこう。